

越ヶ谷宿で古典にふれよう会



第8回「越ヶ谷宿で古典にふれよう会」公演 実施期間 令和6年6月1日



事業実施内容

- ①令和6年6月1日午後13時、15時(2回公演) 於 越谷大澤香取神社集会所
- ②じょうりて楽しむ創作「大澤紺屋童子物語」
- ③歌舞伎音楽 鳴物の実技と解説
- ④古典義太夫「乱菊」で古典音楽の良さを味わって頂く。
- ⑤歌舞伎に出ておられる竹本道太夫氏、鶴澤薫氏、福原鶴十郎氏、望月輝美輔氏、福原鶴十紫、竹本泉太夫と地元の人々が作った人形と人形遣いとなって、プロの演奏家共々創り上げました。

事業実施の成果

越谷市大澤にある香取神社本殿の北面下段の板壁に紺屋の作業過程が彫られています。昔、越谷にも紺屋が多数あったそうです。創作浄瑠璃「大澤紺屋童子物語」は、その彫り物から着想を得て、葛の葉伝説を取り入れて創りました。終演後には、彫り物を見るツアーを企画し、香取神社の巫女さんに案内して頂きました。市の有形文化財である彫り物を皆様知って頂いたり、それを物語に結び付けた事が、好評を博し、多数のお客様に喜んでいただきました。公演後半には縮緬細工作家の曾田眞理子さんに作って頂いたキツネ人形と、狐面がキツネダンスを披露して大いに盛り上がりました。その他にも、歌舞伎音楽の解説で笛奏者の望月輝美輔さんが、お客様のリクエスト曲を完璧に演奏し、皆様一流の芸に触れ感動していました。地元の話題と地元の人達が作る人形と古典音楽のコラボ、是は新しい越谷の文化として、宝として育ててきた感じがします。是からもより一層頑張りたいと思います。

団体のホームページ等の 二次元コード



写真



小学生や中学生の皆様には是非とも見て頂きたいと思います。